

こうた議会だより

特集

住民の声を聞く パート3 20・21
「安全なまちづくりに真っ最中」

- JR新駅建設が本格化 2
平成22年度予算
- 3期12年の総括と町の将来像 10
など6名が一般質問
あい・らぶ・マイタウン 22
- 「見つかった宝物」
「大事にしたい幸田町の自然」

136号

2010.4.28 発行
愛知県幸田町議会



幸田しだれ桜まつりで三河万歳
(中央小学校)

住みよいまち、住みたくなるまちをめざし

平成24年春
開業へ

JR新駅建設が本格化



- JR新駅建設 7億4400万円
- 駅自由通路 2億8500万円
- 駐車場整備(パーク&ライド) 1億1500万円

3月 定例会の
あらまし

3月定例会は、3月1日から23日までの23日間の会期で開催しました。初日には、町長が新年度予算の大綱と施政方針「簡素で健全性を確保しつつ未だつなく総合予算」と位

平成22年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、すべて可決しました。議員提出議案として、意見書1件が提出され可決しました。

一般質問では、6議員が町政全般にわたり厳しく問いただしました。

置付け、「変化に対応し持続可能な住みたくなるまちをめざして」と、町政の基本的な考え方を表明。

平成22年度の10会計の当初予算をはじめ、平成21年度の補正予算、条例の一部改正など25件が上程され、いざれも原案どおり可決しました。

その他、陳情3件を審議し、1件を採択、2件を不採択としました。

議員提出議案として、意見書1件が提出され可決しました。

平成22年度

一般会計
予算

126億4000万円

実質1.5%の減

2年連続の緊縮型予算

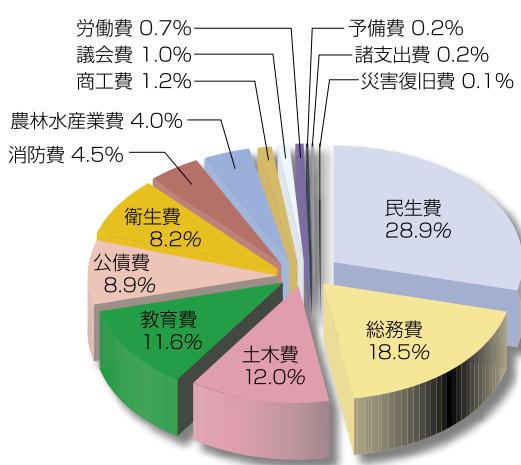
個々町の予算は、実質1.5%減となりました。事業の関連で、税の総額は、69億1100万円の計上を除くと、実質1%減となりました。政権の「子ども手当」支給対し7億1070万円の減。
人町民税は、景気後退の影響を見込み18億800万円。法人町民税

予算の規模は、一般会計をはじめとする、8つの特別会計ならびに企業会計合せて204億1173万円となり、前年度に対し3億9881万円、2.0%の増となりました。

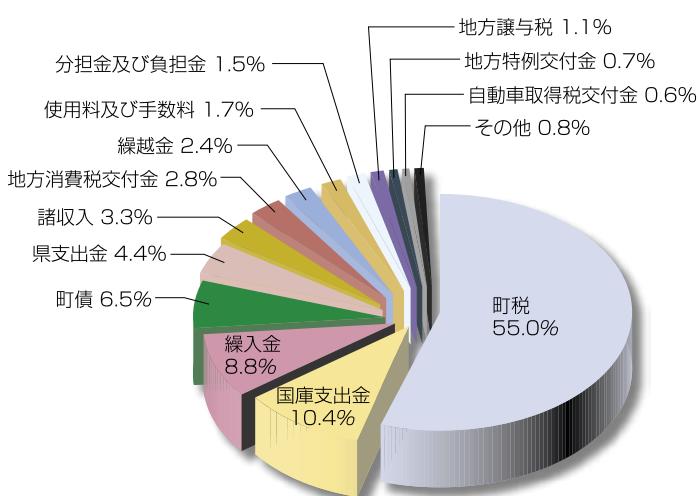
特徴は、土地取得特別会計は、最終年度となつた中央公園用地買戻しなど総額2億679万円。幸田駅前地区画整理事業で主に建物移転として5億376万円となりました。

歳出では、JR新駅関連設置、駐車場、周辺道路整備で11億4400万円などが主なもの。

予算の内容



【歳出】
(使いみち)



【歳入】
(財源)

一般会計予算の割合

チェック 最大の効果を



新規

子どもを育てる

子ども手当の支給事業
9億110万円

平成22年度は、1ヶ月額1万300円を支給(6・10・2月)

- A Q 町内の対象者は何人か。
0歳から15歳(中学校卒業)まで6500人を予定している。
町の負担金はいくらか。
約1億円を見込んでいる。



新規

いのちを守る

救急車の更新
3051万円

住民のいのちを守る高規格救急車、3台目を更新

- A Q 出動回数が多いためドライバーの増員を図ることで、より多くの命を守ります。
車両更新時に順次設置していく。

地域の安全を守る

地域安全ステーション
1095万円

3人から4人体制とし、更なる強化策は、

- A Q 増員により時間延長や防犯パトロール時間の延長を実施、さらに地域との連携を図り、講座開催なども計画している。
今回の採用も警察のOBか。現在、警察OB2人、行政OB1人で、今回の採用は行政OBである。



町民の目線に立ち

重点事業を



様変わりしていく幸田の玄関口

まちをつくる

幸田駅前の再開発

5億376万円

Q 平成21年度までの建物移転補償と、平成22年度の移転予定は、
A 平成21年度までで24戸、平成22年度は、11戸を予定。
A 道路工事は、芦谷蒲郡線の駅前地区は、平成22年度に20mに拡幅する。次いで、国道248号まで拡幅していく。

文化を守る

本光寺の文化財調査費 1776万円

新規



本光寺東御廟所

Q 国の文化財指定に向けた調査の進捗状況は、
A かぎり太刀やガラスの器を、奈良文化財研究所へ搬入した。

A 史跡の町文化財指定後の計画は、
A 平成25年度までに、美術工芸品の国重要文化財や県の文化財指定をめざす。



第2受水点（里地内）

くらしを守る

配水池築造 3億8717万円

Q 施設の工事と供用開始は、
A 町内北部の上水を安定供給するため、平成22年4月から工事開始、平成24年度から供用開始。
Q 全体事業費は、3年間で8億3000万円。

予算特別委員会

— 新年度予算審議から —

平成22年度予算案は、予算特別委員会に付託され、
2日間にわたり慎重審議の結果、可決しました。



産業まつり



こうた凧揚げまつり

健康で元気の出る 町民参加の事業

- ジョギング・駅伝大会 501万円
- 凧揚げまつり 180万円
- 夏まつり 350万円
- 産業まつり 399万円
- 健康福祉まつり 88万円

通学・通勤の安全

通学路グリーンベルト化 (幸田小・中央小学校区)

子どもたちの安全通学のため
歩行帯を緑色にカラー舗装
をする。

● 電動アシスト自転車普及
事業 420万円

A Q どんな事業か。
国の補助金200万円
を使い、18台の電動アシ
スト自転車をレンタル
し、町民にモニターをお
願いして、メンテナンス、
安全面などを調査する。

予防・検診

予防接種事業

1億3205万円
(見送っていた日本脳炎
の予防接種を実施)

● 妊婦・乳児無料健診

● 女性特有のがん検診

4581万円
(妊娠健診は国の基準ど
おりの14回無料)

環境・教育に配慮

中学生海外派遣

330万円

A Q 対象人数と行先は。
生徒12人、引率4人。
北京・上海・西安で7泊
8日の予定。

A Q 平成21年度と変更は。
上限24万円から16万円
に変更。

● 住宅用太陽光発電システ
ム補助 1200万円
(子宮頸がん・乳がんの
検診を町単独で継続)

● 養育支援訪問事業

77万円
(虐待や発育など要保護
家庭への訪問)

A Q どんな事業か。
県内産の間伐材で机、
いすを100セット、小
学校へ設置。

● あいち森と緑づくり学習
電設置 100万円

● C O P 10推進 152万円

● 保健センターに太陽光発
電設置 1360万円



電動アシスト自転車

会計別の当初予算額と採決状況

(▲は減)

会計区分	予算額	前年度比(%)	採決の状況
一般会計	126億4000万円	2.9	反対2:賛成12で可決
特別会計	土地取得	2億679万円	▲54.7 全員賛成で可決
	国民健康保険	29億2458万円	0.4 反対2:賛成12で可決
	老人保健	236万円	▲88.7 反対2:賛成12で可決
	後期高齢者医療	2億7054万円	12.6 反対2:賛成12で可決
	介護保険	12億8177万円	3.8 反対2:賛成12で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	5億376万円	82.2 全員賛成で可決
	農業集落排水事業	4億1884万円	▲8.3 反対2:賛成12で可決
	下水道事業	7億4866万円	▲19.0 反対2:賛成12で可決
水道事業会計	収益的支出	6億6408万円	▲3.3 反対2:賛成12で可決
	資本的支出	7億5035万円	43.2
合計	204億1173万円	2.0	

賛成

大嶽 弘議員

3

2

1

22年度の予算編成
税の減収が見込まれるなかで、各種基

金の有効活用により、将来を展望した第
5次総合計画との整合性と、住民福祉の
維持向上への配慮がされている。町債發
行は、約8億円で、返済は約11億円強で
返済の方が多い。

JR新駅建設
新駅は、人と物の交流を活発にする投
資であり将来的に町の支えとなる。円滑な
建設を期待する。

中学生の海外派遣
子どもは地域の宝である。広い世界、見
識の場所提供は、意義深い事業と考える。

反対

伊藤宗次議員

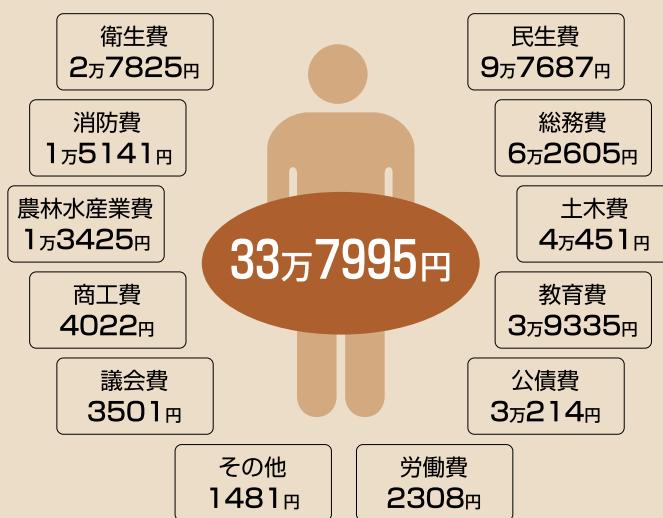
税収が24億円余。26%余も落ち込み、3年間で53億円の借金。

住民合意のない新駅設置などで11億4000万円余の予算是、見切り発車と暴走だ。
その一方で、補助金一律5%カットで40万3000円。中学生海外派遣を復活させ
て330万円。小中修学旅行補助金はカット
したまま。海外派遣中止し、その財源を保護
者負担軽減で役立てて使うべきだ。
借金合計は約160億円。元利返済は18億
円を上回り、町税負担比は26%を超える。
町政の軸足を、開発優先から暮らし支援に
転換を。

討論

ワンポイント解説

労働費	民生費
労働費：雇用対策や勤労者の支援	民生費：主に高齢者、障害者、子 どもの福祉に使うお金
衛生費	公債費
衛生費：ごみ処理や母子保健、検 診などに使うお金	公債費：町債（借金）返済に充て るお金



町民一人あたりの予算 の使い道 一般会計

平成22年3月1日現在の人口3万7397人で割って算出

中央小学校の体育館改築工事

2億9767万円で契約

新体育館の完成図



現在の体育館

中央小学校 体育館規模	
鉄筋コンクリート造	一部鉄骨造(3階建構造)
1階 児童クラブ室	放課後子ども教室
2階 駐車場(27台分)	アリーナ、ステージ、会議室、器具庫
上部 キヤットウォーク	予定価格3億9000万円を10社にて入札し、株式会社鴻池組が落札した。

完成は、卒業式に間に合わせるために、放課後子ども教室は、平成23年度から開始予定。

**住居手当削減
効果581万円**

職員の住居手当は、自己所有の世帯主で3000円、新築購入で5年間は4000円

A 地域の要望を踏え、木のぬくもりのあるものをつくりしていく。
(全員賛成で可決)

**町道路線の認定
と廃止**

道路整備等に伴い、永野地区など5路線を新規認定、20路線を廃止認定、8路線を廃止した。
(全員賛成で可決)

Q 現況の雨量を調査し、排水対策をおこなう。
A みんなの森にふさわしい飼育小屋を。

Q 対象人数、削減額は、500円に引き下げる。
A 入札参加の要綱に基づき募集をし、競争原理が働いた結果である。
Q 安全面も心配ない。
A 学校周辺の雨水対策を充分に。

Q 今年度、地域手当、期末手当も見直されたが、一人平均減額は、約27万円。
(反対2賛成13で可決)

Q 対象人数、削減額は、500円に引き下げる。
A 295人から136人となる。年間約581万円の削減である。

将来の財政運営に備え 15億5037万円積み立て

会計別の補正予算額 (▲は減)

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	12億7441万円	145億2864万円
特別会計	土地取得	▲1100万円
	国民健康保険	▲1億7947万円
	老人保健	▲1670万円
	後期高齢者医療	▲300万円
	介護保険	▲1002万円
	幸田駅前土地区画整理事業	▲2255万円
	下水道事業	▲2400万円



修繕される中吉橋（広田川）

陳情

- 民間保育所運営費の一般財源化に関する国への意見書採択についての陳情

(反対13賛成2で不採択)

- 障害者自立支援法の「応益負担」「日額払い方式」に関する国への意見書採択についての陳情

(反対13賛成2で不採択)

- 外国人への参政権を付与する法案に反対する陳情

(反対3賛成12で採択)

議員提出議案

- 外国人への参政権を付与する法案に反対する意見書（案）の提出について

(反対3賛成12で可決)

平成21年度の補正予算

一般会計

安全・安心な学校づくり
交付金、公共投資臨時交付
金など国庫支出金1億923万円の増額と、県支出
金1160万円、中央小学
校体育館改築工事費1億3500万円を減額補正した。

なお、減収補てん債で13億円借り入れ、将来の財政運営に備え、基金に15億537万円を積み立てた。

繕費で、3000万円。

深溝・荻谷小学校の工事費で1億円。学校施設の地震補強は、すべて完了する。

数の減少、規約の変更
(全員賛成で可決)

特別会計

国民健康保険特別会計で、療養給付費等負担金1億5000万円の減額をはじめ、7つの特別会計すべて減額補正された。

愛知県後期高齢者医療広域連合の地方公共団体の数の減少、規約の変更
(全員賛成で可決)

人事案件

● 愛知県市町村職員退職手当組合の地方公共団体の審議されたその他の議案

監査委員 黒柳 広治 氏
(全員賛成で同意)

町づくりの 考えは?

問

3期12年の総括と町の将来像



大須賀好夫 議員

答

自立した5万都市をめざす

思っている。
なお、JR新駅、幸田駅
前再開発は、継続中である。
町が自立し、持続可能な

平成22年度は、総合計
画の折り返し点であり、幸

5万都市をめざす思いは変
わりない。
町長任期は、8月をもつ
て終わる。これまでご支援
をおいたことに感謝、
お礼を申し上げる。



開発の進む新駅周辺

問 (1) 世界的不況下で、
町税が過去3年間で約
24%減少している。減
収補てんと来年度以後
の影響は。

税収激減 対策は

答 (1) 税の減
収に備え減収補てん債を
活用する。平成20年度と
21年度で21億5000万
円を借り入れ、税収回復
までのつなぎ資金とする。

(2) 平成17年と比較する
と老人福祉費15%、介護
保険33%の伸びとなっ
ている。これは、国の大
な制度改革の実施、町単
独の福祉施策などによる
ものである。住民生活を
守るために負担は必要と
考える。

(3) JR新駅、幸田駅前な
ど9事業に影響がある。
国への要望活動を引き続
き強力におこなう。

答 町長 12年間でいくつ
かの仕事を手がけた。議会
をはじめ町民、職員、関係
者の支援を受け、うれしく

問 幸田町のリーダーとし
て、先導された近藤徳光町
長、名実ともに、内外に誇
れる「幸田町」として大き
く成長したと確信している。
3期12年の総括として、
近藤町長自身が描かれた、
町づくりはできたと考えら
れるか。

来る8月の任期満了に、
再度挑戦し町のリーダーと
して未来を切り開く意図は
あるか。

答 (1) 減収補てん債
の資金で
つなぐ



酒向弘康 議員

問 「事業仕分け」導入を

答 前向きに検討する

町長 (2) 新規事業を抑制し、単独事業は、極力、取り組まない。小限の経費で事業を円滑に進める。検討する。

総務部長 (1) 選択と集中を図り、持続可能な予算である。

(1) 新年度予算編成にあたり、限られた財源を踏まえ、どのような切り口で、どのような考え方で、どのようなやり方で進めたか。

(2) 「まずは、やつてみる」町長の強いリーダーシップで「事業仕分け」を導入する考えは。

(3) (2)(1) 町内の交通事故状況は、自転車の事故状況は。

(4) 全国の多くの自治体で3人乗り自転車の貸出しサービスが急拡大している。本町でのサービス実施の考えは。

問 本町の財政状況は、企業収益や個人所得が低迷し、歳入の柱である町税収入が厳しい状況だ。スリムで町民にわかりやすい、開かれた財政運営が必要と考える。

問 自転車の安全な乗り方を啓発するソフト面と、通行環境を整備するハード面の取り組みの強化が求められる。

急げ、自転車専用レーンを

町長 (2) 住民に聞かれた、わかりやすい行政を進めながら、導入は前向きにある。

総務部長 (1) 死亡事故「ゼロ」は、継続している。平成21年は、重傷者7名、軽傷者252名である。

歩行者と共存できる環境を整備

教育部長 (3) 警察署、交通指導員によるマナーの指導や、講話を実施している。また防犯パトロールを兼ね地域の方と連携を図り、交通指導に取り組んでいる。

建設部長 歩行者の安全と自転車が共存できる環境を整備していく。
健康福祉部長 (4) ニーズが少なく、安全な道路が不足しているため、今は考えていない。



交通ルールを守って



伊藤宗次 議員

問

福祉バス拡充し安心下校で活用を

答

コミュニティバス化で拡大



福祉巡回バスは町民の足

公共投資は持続可能な町の基盤

答

町長 J.R.新駅を中心とした一定の公共投資は、

持続可能な町にしていく基盤づくりであり、発展していくためには、どうしても

必要な。福祉には可能限り対応している。

住民への支援は他市町に比べ遅とはいえない。

借入金残高は充分留意を

している。公債比率は11%

前後で推移すると思う。

職員は公務に使命感を

持つてやっている。原価意識に徹して、最小の経費で

最大の効果をあげていきた

開発優先から
暮らし支援へ
転換を

主導性の發揮を。
用を教育委員会は提案し、
安全・安心下校でバス活
用は無料をつらぬけ。

交通戦略で、福祉巡回バス
をコミュニティバス化し、
新駅の開業に合わせて切り

問 「コンクリートから人
へ」を、仕事始め式などで、

共感と町長は言つが、施政方針は従来型の「開発優先、新駅見切り発車と強行」だ。税収が激減し、長期におよぶ財政状況にある。開発優先の軸足から、住民の暮らしを守り支援する政策へ転換を。

開発優先は、借金残高を増やし返済負担を強め、孫子の代までツケを回すものだ。職員の意識改革とは「当てつけ答弁」をしても口をぬぐい、知らんぷりを決めて、職員をかばうことが意識改革なのか。

町長 素案検討の段階では見も出し、よりよいものにしていく。

3ルートとも所要時間1時間は長い。
バス3台3ルートでは限界があり、増車を提起する。最終が午後4時20分と早い。午後7時まで延長を。

福祉バス実現を求めてづけて9年。96年に実現して14年余。年4万8000人が利用し、外出の機会をつくり、引きこもりや寝たきりになる人を増さないという行政効果があり、結果的に行政コストは安い成果を生んでいる。

問 福祉バス実現を求めてづけて9年。96年に実現して14年余。

かえる。

全町民を対象に利用者の拡大を図っていく。

町長 三つの駅を中心に、1台増車して4ルートにする。所要時間は1ルート45分とし、午前8時30分から午後6時までとする。

総務部長 運行時間を下校に合わせる時間帯設定で、スクールバス対応していく。

教育部長 子どもたちの意見も出し、よりよいものに

していく。

町長 素案検討の段階では

無料である。



大嶽 弘 議員

問 COP10 本町の取り組みは

答 自然環境への意識醸成を啓発

今年の10月に名古屋市でCOP10が開催される。会議開催を契機とした本町の取り組み施策は、本町の生き物、植物の種類数は、生態系に関する資料をパンフレット形式で、児童・生徒や住民にPRできなか。

答 環境経済部長

(1) COP10開催時、筆柿のミツバチによる受粉の仕組み、渋の判定などのパネル展に取り組む。

答 教育部長

(2) 町民の自然環境に対する意識醸成の啓発をする。ウエイブ運動で、どんぐりの種子を採取・育苗し、植樹する環境学習に取り組んでいる。

答 環境経済部長

(3) 平成17年の生態系調査で、動物515種、植物519種を確認している。

答 建設部長

(2) 平成19年は9戸に対し22件応募、平成20年も9戸に対し24件応募、平成21年は5戸に対し35件の応募であった。

高齢化社会到来により低額の住宅確保が望まれる。マスコミ報道される無料宿泊所の県内および近隣市町村の設置状況は。

問 町営住宅の増設計画を

(1) 近年の町営住宅入居申し込みと入居状況は。

(2) 将来の人口構成を想定した町営住宅の増設計画を。

(3) 民間住宅への支援制度は。

(4) 県下では24カ所あり、名古屋市が14カ所、岡崎市が2カ所、豊橋市、一宮市があるが、町内はない。



町営横落住宅

問

在宅介護サービスの充実を

答

相談体制を充実させる



水野千代子 議員

問 今日は、世界に類を見ないスピードで超高齢社会に突入し、15年後には、3人に1人が65歳以上になると予測されている。

住みなれた地域で暮らし続けられるように、老老介護、介護難民などに支援サービスの拡充が求められている。

(1) 介護施設の待機者数は、介護保険申請から認定までの間、仮認定でサービスの提供を。

(2) 緊急通報装置の貸与を拡大。

(3) 在宅介護サービスの充実を。

(4) 認知症予防に役立つ、回想法のさらなる拡充。

(5) 在宅介護サービスの充実を。

答 健康福祉部長 (1) 町内2カ所の特別養護老人ホームの待機者(平成22年1月末の申込み数)は、



昔なつかしい道具（回想法キット）

自殺予防の啓発・普及を

問

全国の自殺者は、平成10年以降12年連続して3万人を超し、交通事故死の6倍となっている。

国は、平成18年「自殺対策基本法」を施行。自殺者が減少しないことから、

平成22年2月「いのちを守る自殺対策緊急プラン」を発表している。

自殺の要因は、健康・経済面などさまざまであるが、

相談窓口の充実、心の病に対する正しい知識を知ること、自殺予防の啓発・普及で、避けられる死は多くあると考える。

町の施策を問う。

答 健康福祉部長 平成21年2月17日には、医学博士の講演会を開催し、65人の受講者があつた。

今後、駅やスーパーでの啓発物品の配布を計画している。

体制づくりに努める

相談窓口は、西尾保健所、

県の「あいちこころホットライン」、社会福祉法人「いのちの電話」、役場福祉課などがある。

命を断つことは誠に由々しく、大変不幸なことである。地域での「支え合い・助け合い」での情報交換と同時に行政の相談窓口、受け入れ体制を作る努力をしたい。



丸山千代子 議員

問 75歳以上の医療費無料化実施を

答 医療制度そのものが検討課題

(3) ふれあい給食は、安否組みみたい。
 (2) 低所得者の無料化は、後期高齢者福祉医療制度にかわり検討していく。
 (1) 後期高齢者医療制度そのもののを見直しするとしているので、今後の検討課題である。

(3) ひとりぐらしや高齢者世帯への給食サービスは安否確認と見守りになる。希望する日に利用できるように、365日提供できる体制を。

(2) 孤独死ゼロの取り組みを。
 福祉給付金制度の対象者拡大を。



ふれあい給食で見守り活動

子宮頸がんのワクチン助成を

確認もおこない週3日実施している。あとは民間事業にお願いするしかないと、体制に不安がありが、体制に不安がありまならない。

4月から、4・95%の値上げで高齢者は負担増となり、病院に行く費用もままならない。

75歳以上の医療費無料化実施を。

期高齢者医療制度の廃止を4年先送りした。

年間1万5000人の女性がり患し、3500人が亡くなっている。

平成21年末に子宮頸がんを予防するワクチンが、承認・販売され、助成する自治体ができている。

ワクチン接種に効果的なが、10代前半とされ

る。

子宮頸がんのワクチン接種と検診体制で予防する取り組みを。

子宮頸がんのワクチンの公費助成を。

75歳以上の医療費無料化実施を。

年12月、厚生労働省が認めたばかりである。非常に子宮頸がんになりにくく結果が高いと言われているが、全国的には、まだ費用助成しているところがない。

厚労省も、ほかの予防接種も含めて全体の見直しをする。再検討会議をやっている。他の市町村の動きを見ながら判断していく。

他の市町村の動きを見て判断

答 健康福祉部長 平成21

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務



通学道路のグリーンベルト化
(荻谷小学校校区内)

Q 交通安全・防犯・防災などの取り組み状況の報告。
A 道路標識などの色が変化している。安全対策を実施している。

Q 岡崎警察署管内で優先順位をつけ整備している。

Q 通学路の危険箇所はどういうふうに調査したのか。
A 学校・地域・警察と町で、今年度は坂崎学区の通学路の点検をした。

A 今後、解散ができるなら、らばその方向でいきたい。

Q 模範造林組合の負担分担が、毎年230万円かかる。町内に管理する山がない、来年の100周年を契機に離脱をしてはどうか。

A 造林予算に変更しては、町内の森林保全管理に助成をする方が大事ではないかという意見も出ている。

2月17日
協議会開催

岡崎市額田郡
模範造林組合決算

通学路の
安全対策を

子ども読書活動推進計画 を策定

文教福祉

A 1ヵ月の目標冊数、小学生6冊、中学生4冊。

Q 子どもの読み書きが下ってきてる。保育園や学校で読書活動をやっていく必要があるのでは。

A 読書・活字離れは深刻になつていて。学校図書館に指導員を置き、魅力ある図書館づくりに取り組んでいる。

平成22年度
保育所申込み状況

Q マンモス化している園がでている。バランスをとつて特色ある園づくりを。

A 待機児を作らないといふことが原則である。相見地区で増加傾向のため、わしだ保育園の増築を考えている。

2月12日
協議会開催

A 子どもが良い本に出会い、読書は親の影響も大きい。

Q 読書は親の影響も大きい。

A すべての子どもたちが本に親しむことのできる環境の整備と、読書活動を推進していくため計画を策定。

計画の期間は、平成22年度からおおむね5年間。



楽しい読書

鳥獣害防止対策に 補助制度

産業建設



捕獲されたイノシシ

福知山市
リサイクルプラザ
プラザ、焼却炉、埋立処分場を1カ所に集め、環境パークとなっていた。プラザでは、手作り体験コーナー、再生室、リユースショップ、情報コーナーなど整備されており、ゴミ

の分別意識も高いと感じられた。

精華町
駅東土地区画整理
大阪市の通勤圏内にあり、

人口約3万6000人、近鉄3駅、JR2駅がある。駅前を中心に、土地区画整理が断続的に推進され、商業用地を優先的に確保していた。

A Q 平成21年イノシシ捕獲は14頭である。
補助額は、資材費の2分の1以内で上限50万円。同じ場所で5年間は使用する。

A Q 町のエリアに、1頭もいなくなる施策に取り組んでいきたい。

A Q 環境政策の後退では、補助額の県内平均は4万円で、希望者の多くに渡るよう配慮した。

A Q 国の太陽光発電システム設置補助制度が復活したため、町の補助金額が見直しされた。

平成22年1月18日から20日の間、兵庫県加西市、京都府の福知山市・精華町を視察した。

加西市

バイオマスマスタウン構想
近畿圏内の自治体に先がけ、平成17年11月「バイオマスタウン構想」発表。

行政・市民・企業の三者連携で、廃食用油リサイクル、木質バイオマスなどの事業に取り組み、CO₂削減、循環型社会づくりに先駆けていた。



手作り体験コーナー（福知山市）

バイオマスマスタウン

構想など視察

2月15日
協議会開催

太陽光発電補助を広く対応

一般質問 その後 追跡

あの答弁はどうなったの！



移転の進む幸田駅前地区

その後
afterward

anAver **quQion**

「町の玄関口」、「町の顔」にふさわしい景観形成を。
商店の活性化や駅前利用者の利便性を備えた整備、地域主導の個性あふれる、安全でにぎわいのあるまちづくりをめざす。

幸田駅前地区は、再開発により、平成21年度から本格的に、建物移転や道路整備の施行に着手している。今後、電柱の地中化、バリアフリーなど、景観に配慮したまちづくりを進めいく。

平成19年9月定例会
大嶽 弘議員

幸田駅前地区のまちづくりは

平成19年9月定例会
大嶽 弘議員

その後
afterward

anAver **quQion**

近年消防団員確保に苦労している。どのような対策を考えているか。

団員確保のPRに努める。

平成19年12月定例会
鈴木修一議員

消防団員の確保を図れ

町民の理解と協力を得るため、消防団の現況説明会、チラシの配布をおこなっている。消防団活動に協力をいただいている事業所には、消防団協力事業所表示証の交付などをおこなっている。しかし、毎年新入団員がみつからず、留任する団員も若干ある。今後も効果的なPRに努めていく。



消防団の競練会

テーマ

議会は 何のため 誰のため



研修会風景

2月16日

議員研修会を開催

講師 全国町村議会議長会
議事調査部長 岡本光雄氏

幸田町議会・議員の資質向上をめざし、自主研修会を開催しました。
平成の大合併で議会・議員が激減、政権交代など環境が変化する中でどのように活躍するかがテーマでした。

特に講師から、住民は、

議会・議員に対して多くの疑問を持っているため、議会は「何のため・誰のため」と考えて情報公開に取り組む必要があると指摘されました。予定時間を超過するほど、熱の入った研修会となりました。

平成21年5月発行の議会だより132号が、初入選しました。

平成21年度全国町村議会広報コンクールへの応募数202町村中7位でした。

こうた 議会だより

祝



全国コンクールで
初入選



表紙の模様替えや、小中学生のあい・らぶ・マイタウン、真っ最中シリーズなど読者の皆さんと歩む姿勢を評価されたものと考えます。

日ごろのご支援ご指導に感謝申し上げます。

全国町村議会広報 コンクール入選作

	県	議会
最優秀賞	鳥取	北栄町
優秀賞	山梨	昭和町
△	秋田	美郷町
△	群馬	吉岡町
入選	岩手	金ヶ崎町
△	△	零石町
△	愛知	幸田町
△	石川	志賀町
△	高知	越知町
△	石川	内灘町
奨励賞	岩手	岩泉町
△	宮崎	高千穂町
△	愛知	大口町
△	北海道	栗山町
△	岐阜	安八町
△	新潟	聖籠町
△	群馬	昭和村
△	宮城	七ヶ浜町
△	鹿児島	姶良町
△	宮城	美里町

防犯ネットワーク

防犯ボランティア団体10
団体が、毎月1回、防犯ネットワーク会議を開催。幸田町の犯罪が、少しでもなくなるように、安全な町づくりめざして、各団体の交流を図っています。

幸田町の犯罪が、少しでもなくなるように、安全な町づくりめざして、各団体の交流を図っています。

平成22年度の合同パトロールは、年4回（春夏秋冬）、青色回転パトロール車を連ねて、夜のまちを巡回する予定です。

の志賀正明代表は「一般の方で、青パトに乗つてパトロールしたい人に参加を呼びかけています。」「防犯ボランティアへの参加は、いつでもOK。ぜひご参加ください。」と語ります。

いざパトロールに出発

防犯ネットワークって



ネットワーク会議風景



志賀代表

稻吉副代表

防犯ネットワーク会議に議会広報特別委員が出席し、「議会だより」や町政に反映してもらいたいことなどに、アンケートをおこないました。（内容は要約しています。）

一緒に合同パトロールを

幸田防犯ネットワーク

- ◎幸田防犯まちづくり倶楽部
 - ◎大草防犯夜廻り隊
 - ◎横落区防犯パトロール隊
 - ◎永野安心見守り隊
 - ◎防犯パトロールたんぽぽ会
 - ◎市場区防犯パトロール隊
 - ◎坂崎安心見守り隊
 - ◎坂崎区防犯パトロール隊
 - ◎防犯パトロール幸田南歩会
 - ◎海谷防犯パトロール隊
- (順不同)

住民の声を聞く

パート③

安全なまちづくりに 真っ最中

- (1) 議会だよりを見ていますか。
- ・ 時々読んでいる。
- ・ 地元関連の事業や関心ごと以外は見出しだけで内容まで読んでいない。
- ・ 毎回読んでいる。
- ・ (1) どんな内容が知りたいですか。
- ・ 議会で議論され採決された案件が、どのように町政に反映されているか。
- ・ 議員がどのような活動

- (2) 未来の幸田町の風景、どんな町をめざすのか。
- ・ 未来の幸田町の風景、どんな町をめざすのか。
- ・ 皆さんに読んでいただきには、どうしたらいいですか。
- ・ 現状で充分読みやすいレイアウトと内容である。わかりやすい表現がよい。

- 3 今の活動で一番うれしかったこと、つらかったことは。
- ・ パトロール中に、住民から「ごくろうさま」と声をかけられたことや落し物を発見したこと。
- ・ 小学生の下校時の見回りで、子どもと交流ができ感謝された。
- ・ 活動をとおして友人が増えた。
- ・ 冷めたい時の手足のかじかみ。

議員はどんな活動を



- 2 今、参加している団体としての使命感は何ですか。

- ・ 安全で安心なまちにするためのパトロールで、不審者や犯罪を少なくする。

- 3 使命感は
- ・ 冬の夜、寒い時のパトロール。
 - ・ 被害者がされることと活動が行き届かないこと。

- 4 議会では、どんなことを話し合ってほしいですか。
- ・ 安全なまちにするための長期計画を行政に提案してほしい。
 - ・ 地域の環境整備、ボランティア団体への理解と

- 5 行政に望むことは。
- ・ 冬の夜、寒い時のパトロール。
 - ・ 被害者が幸せに過ごせるまちづくり。
 - ・ 財政難の時なので、箱型オンリーではなく、町民の暮らしを考え、調和のとれた行政を望む。
 - ・ 街灯の整備・活動に対する支援。

支援。
町政を安定化し、教育、福祉、医療を充実。



子どもと夜間パトロール（大草）

皆さんの声を議会活動に反映させたいと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。



南部中学校3年
岩瀬 彰仁くん



南部中学校1年
渡邊 美佳さん

あい・らぶ・マイタウン

幸 田町は周りに自然があつて、空気がとてもきれいな町です。先日、学校の行事で幸田町を歩いた時、幸田町の自然の景色に感動しました。緑の山やきれいな川を見ていると疲れも吹き飛びました。理科の授業で「大自然に感謝し、大自然を大切にしましょう」と何度も話が

ありました。景色を見ていると心から自然に感謝しようとという気持ちになっていました。



絵 牧野次男さん（芦谷）

大事にしたい幸田町の自然



平成20年の8月の集中豪雨により、本光寺にある深溝松平家の墓地が傾いてしまい、その修復に伴う発掘にぎわいます。

調査がおこなわれました。その墓地から、小判と一分金、印ろう6セット、全国的にも出土例がないガラス製グラスなどが発見されました。青むらさき色のグラスでとてもきれいな絵が書いてあり、大昔の物がこんなにきれいな形で残っているなんてびっくりしました。

私は、見つかった多くの宝物を大切に保存し、たくさん的人に幸田町の本光寺に来て、見てほしいと思います。



見つかった宝物

あなたも議会を傍聴してみませんか

6月定例会、本会議の予定です。

●会期の日程

- 6月11日（金）開会、議案の説明
 - 14日（月）一般質問
 - 15日（火）//
 - 16日（水）議案の質疑
 - 28日（月）討論、採決、閉会
- 場所 役場5階 議場
- 時間 午前9時から
- ◎詳しくは議会事務局へ
☎ 63-5151 (直通)

編集後記



議会広報特別委員会

委員長 夏目一成
副委員長 丸山千代子

委員 池田立嘉之
足立千代子

委員 酒井向嶽久男
水野千代子

委員 弘康弘
木田千代子

委員 三津男
鈴木千代子

議長 発行責任者
入選となりました。
今後も「議会だより」が、